

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	塚原古墳群保存・活用事業	会計	一般会計	事業No.	765	施策順No.	63-006
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-5-3-11-3		
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり			課等名	生涯学習・スポーツ課		
施策	63 地域資産の保存継承	事業期間	開始	12	終了	28	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	塚原古墳群						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		古墳数(基)	16	16	16	16	16		
		塚原古墳群の整備対象面積(m ²)	72000	72000	72000	72000	72000		
意図		古墳時代の伊那谷がわが国の政経上の中枢を担った事実を端的に表す塚原古墳群を史跡に指定するとともに整備し、歴史学習の場として活用しながら後世に保存継承する							
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		仮整備された面積(m ²)	7550	7550	7550	7550	7550	7550	B
		古墳を活用した学習活動等の回数(単年度:回)	12	13	13	15	16	15	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	学校の教育活動、地域活動に対する支援を行い、地域活動としての古墳整備に関する協働作業を実施した。文化庁主任調査官との会談(地域活動の実態について)の場を設けた。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

飯田市は、23基の前方後円墳をはじめとして多くの古墳が残っており、古墳時代の伊那谷における中核的な地域とされる。こうした背景には、馬生産に携わり、わが国の政治経済上における重要な位置を占める地域として当時の中央政権との強いつながりがあったことがわかっており、全国的にも注目されている。塚原古墳群は、古墳群全体が良好に残り、市内に存在する古墳の中で歴史的価値においても中核をなすものであり、また天竜川を崖下に望む良好な景観を有している。本事業は、全市的にも重要である塚原古墳群全体を国史跡指定し、特色ある人づくり・まちづくりの拠点として整備・活用を図ることを目的としている。国史跡指定に向けての文化庁・県教委からの指導により、平成19～21年度に実施した塚原二子塚古墳範囲確認調査の成果とあわせて、塚原古墳群の日本における価値をより明らかにするため、客観的な評価を外部研究者から受けるために「主要古墳調査指導委員会」を開催し、平成23年度に指導委員会の評価を盛り込んだ報告書を刊行する。また、将来的な整備・活用については、さらに学識経験者による専門的な指導を受けるとともに、地域との協働により保存活用、整備計画を策定

	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 塚原二子塚古墳範囲確認調査の整理作業	1 作業月数	1 10ヶ月
	2 塚原古墳群についての内外への情報発信等	2 実施回数	2 7回
	3 地域との協働による学習会・保護活動・検討会等の実施	3 実施回数	3 9回
	4 史跡指定に向けての文化庁・県教委視察	4 実施回数	4 1回
	5 塚原古墳群の保存活用に関わる基本方針の策定と、教委内での合意形成	5 調整会議回数	5 10回
	6 主要古墳調査指導委員会の開催	6 実施回数	6 1回
23年度実施計画	1 主要古墳調査指導委員会の開催	1 実施回数	1 2回
	2 報告書刊行	2 刊行部数	2 300部
	3 史跡指定に向けての文化庁・県教委視察及び調整等	3 実施回数	3 5回
	4 塚原古墳群の保存活用に関わる基本計画の策定及び庁内調整	4 実施回数	4 10回
	5 塚原古墳群についての内外への情報発信等	5 調整回数	5 5回
	6 地域との協働による学習会・保護活動・検討会等の実施	6 実施回数	6 10回

3 事業コスト

		(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	
事業費	特定財源	国庫支出金	1,200	1,200	1,200	特定財源内訳、補足事項
		県支出金				
		起債				
		その他				
		一般財源		1,204	1,202	
計 (A)			2,404	2,402	2,402	
				2,500		
				8,940		
トータルコスト A+B				11,340		

(国)文化財保護補助金(埋文発掘)(1/2)1,200千円

4 事業に対する市民や議会の意見

塚原古墳群のある竜丘地区では、「古墳を考える会」を中心に地域による古墳の保護活動が行われてきたが、平成20年度からは新たに「古墳」を後世に引き継ぐための検討委員会を立ち上げ、塚原古墳群のみならず竜丘地区全域の古墳所在調査や学習会を実施するなど、地域での啓蒙活動を自主的に行っている。また、塚原二子塚古墳の草刈や周辺の環境整備も地域主導で行われている。こうした中で、飯田市としての具体的な方針・計画等について地域へ提示することを求められている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域資産が保存・継承される	施策の成果指標又はムトス指標	保存・継承への支援
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	塚原古墳群の歴史的価値を知ってもらうことで、地域独自の人づくり・まちづくり実践のための活動に活かすことができた。		
	後期に向けた課題	・古墳の保存活用に関する地域連携システムを構築する。 ・塚原古墳群の国史跡指定に向けた調査研究を継続実施していく。		保存・継承している地域資源の数
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	・学校教育、地域活動に対する支援(学習活動・整備活動等)を行った。 ・塚原二子塚古墳範囲確認調査の現地見学会を実施した。 ・文化庁と地域との会談の機会を設けた。		
	後期に向けた課題	適切な情報発信を行う必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	・古墳の整備活動に際して、リサイクル資源(竹チップ)を活用した。 ・整備を地域活動との協働により実施した		
	後期に向けた課題	・リサイクル資源の活用を検討する。 ・効率的かつ効果的な整備方法を工夫する。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市民共有の財産である文化財の保護が目的であり、市の関与は適切である。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①竜丘地区住民を中心とする任意の活動組織・地域づくり委員会・自治会・学校・公民館等により、古墳の環境整備・学習活動等を自主的に実施している。②環境整備に関する資料の提供や協働作業を実施した。学習活動に対する職員の派遣や講師の紹介等の支援を行った。		
	後期に向けた課題	・地域や市民に対する情報発信を的確に行う。 ・塚原古墳群の保存活用についての飯田市の基本的な考え方を地域に対して示す。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・塚原二子塚古墳の範囲確認調査を実施し、その内容について新たな知見が多く把握された。 ・竜丘地区では「古墳を考える会」や「古墳」を後世に引き継ぐための検討委員会などの組織が中心となり、地域づくり委員会・自治会や公民館と連携して、古墳の整備、「古墳まつり」や学習会を実施し、地域の啓蒙につとめてきた。		
	後期に向けた課題	地域で中心的に活動してきた方々の高齢化が進み、活動の継続が危ぶまれている。市は将来的な方針を示し、主体的に関与する必要が出てきている。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--